

第三者意見



日本消費生活アドバイザー・
コンサルタント・相談員協会
サステナビリティ消費者会議
消費生活アドバイザー

小笠原 むつみ

第三者意見について

コープみらいの社会的責任の取り組みについて評価を受け、今後に向けた課題を提起いただくために、外部識者の方に第三者意見の執筆をお願いしました。ご意見を踏まえ、今後も諸活動を広げながら、ステークホルダーとのコミュニケーションの改善を図ってまいります。

貴生協の社会課題解決への取り組みは、多岐に渡っており、年々広がっていると感じられます。「社会的責任報告2016年」は、ISO26000の規格を参考に主要テーマを整理し作成されているとうかがいました。今年、「持続可能な生産・消費」「社会課題解決への取り組み」の視点から述べさせていただきました。

「持続可能な生産・消費」の視点から

「明日を担い、未来を拓く。」という特集ページでは、生産者の声掛けから職員、組合員と生産者のイベントが実現しています。生産物や生産方法の特徴を生産者がアピールすることで、安全を安心に変え、お互い学び合い、生産者同士の研鑽の場にもなっており、持続可能な生産・消費へとつながっている取り組みだと感じました。その他、規格外商品などを訳を伝えて販売し、生産の苦労や食品を無駄にしない取り組みを組合員や消費者と共に行っていることも評価できます。また、環境配慮商品を多く取扱い、組合員や消費者に内容を知らせて販売していることも、持続可能な生産・消費へ寄与しています。

社会課題の解決への取り組みについて

自治体と協働で地域の高齢者を見守る活動は、協定の締結自治体が増え、活動が広がっています。買い物困難者に対しても、自治体・UR都市機構・NPOと協力し、団地の空きスペースを商品受け渡し場所として設け、集える場としても活用するなど新たな取り組みを行っています。地域の幼稚園・保育園などで交通安全教室に協力し、高齢化や少子化といった社会課題への貴生協ならではの取り組みとなっています。「コープみらい社会活動財団」を設立し、豊かな地域社会づくりのために活動する市民団体を表彰・助成する取り組みは地域と共に課題解決するという目的が明確であり、地域の発展に大きく貢献していると高く評価できます。また、熊本地震被害への職員派遣は、これまでの経験を生かし、迅速な対応で社会への要請に応え、現地の力となったことと思います。

今後への期待

「明日を担い、未来を拓く。」「100年後の地球のために」など、タイトルから、貴生協が未来を強く意識されていることがうかがえます。社会課題解決のための多くの取り組みを生産者、組合員や地域と共に積極的に実施されており、引き続き取り組みが広がることを期待します。取り組みの中で、貴生協が重点を置いている課題を示し、どのように解決していくのか明確化することで、より取り組みが進んでいくことと思います。